

くしろ 市議会だより



「佇む」堂閑 静さん(明輝高校3年)

議会日程

2/22
議会運営委員会

2月定例会 (会期26日間)

2/26
市政方針/教育行政方針/
提案説明
3/4、5、8
各会派代表質問
3/9、10
質疑・一般質問
3/11
委員会審査
(補正予算等先議分)
委員会審査
3/12
委員会採決
(補正予算等先議分)
委員会審査
3/15
委員長報告/本会議採決
(補正予算等先議分)
3/15~18
委員会審査
3/19
委員会採決
3/23
委員長報告/討論/
本会議採決

国際バルク戦略港湾指定に向けての取り組みについて論議がありました。

本会議では、全国でも有数の港湾が手を挙げ、極めて激しい港間競争が想定される。市として当面どのように取り組んでいくのかとの質問がありました。

市長は、釧路港は、一大酪農地帯を背後圏に擁しており、わが国の食料供給基地として重要な役割を担っている。また、北米から最も近い地の利があるなどの優位性を持っていることから、日本の農業及び食料政策の発展のため釧路港の指定が必要不可欠である。そのため、釧路管内の首長、経済界、行政、港湾関係者などにより構成される釧路港利用整備促進協議会に釧路港スーパーバルク構想推進検討部会を設置し、作業を進めている。今後、4月の公募、6月のプレゼンテーションに向け、優位

国際バルク戦略港湾の指定獲得へ ……専任の担当職を配置すべく検討……

2月定例会では、各会計の新年度予算や、市の組織再編に関する条例改正案、公営企業会計の経営健全化計画策定の件などについて原案どおり可決しました。

本会議及び委員会では、(仮称)阿寒湖温泉アイヌシアター施設建設、国際バルク戦略港湾の指定、高齢者バス等利用助成事業などについて論議がありました。

国際バルク戦略港湾指定に向けての取り組みについて論議がありました。

性と実現性をしっかりと訴え、地域一丸となつて取り組んでいきたいと答えました。

委員会審査では、国際バルク戦略港湾担当の専任者をおいて内外へ釧路市の姿勢を示すべきでないかとの質問がありました。

市長は、国際バルク戦略港湾指定の役割を担う専任の担当職を配置すべく検討していきたいと答えました。



西港に接岸する大型穀物運搬船

※ 国際バルク戦略港湾とは、国際的な資源の獲得競争等に対応するため、国土交通省において決定された穀物飼料、石炭、鉄鉱石のバルク(ばら積み)貨物を取り扱う輸送拠点港のこと。22年度中に選定される予定。

清風会 続木 敏博 議員

第三セクター等改革プラン 市民の理解を得ることが重要

問 第三セクター等の改革プランについて、これまでの経過と今後の解決策を、市民に対しわかりやすく説明すべきでないか。

答 改革プランを実行する上では、市民の理解を得ることが最も重要であるため、タイミングよくわかりやすい説明を行っていききたい。

問 国際バルク戦略港湾指定に向けた取り組みを進める必要がある今、なぜ、水産港湾空港部として統合再編を行ったのか。

答 組織統合による新たな波及効果を期待する観点などから、部の統合再編を行った。

問 道営住宅の建設と道の総合庁舎を旧旭小学校跡地に誘致する方法を研究してはどうか。

答 中心市街地への道営住宅の誘致や、シビックコア地区内への施設建設を道に働きかけていきたい。



釧路シビックコア地区

問 人口減少、高齢化社会の到来に対し、行政と地域で安心して暮らせるまちづくりを検討すべきでないか。

答 総合計画や都市計画マスタープランに方針を掲げているが、今後、具体的な方法を研究したい。

問 移転が決まっている日銀釧路支店は、ウォーターフロントのシンボリック建物であることから、市で購入し活用すべきでないか。

答 施設の跡利用については、日銀側とも相談しながら、検討していききたい。

問 (仮称)阿寒湖温泉アイヌシアター建設に当たり、将来計画や方向性など十分な議論をすべきでないか。

答 施設整備に関しては、地域全体のまちづくり構想と連動した中で、さまざまな議論を重ねてきている。

市民連合議員団 宮田 団 議員

新規高卒者を市臨時職員で採用 研修と合わせ就労促進を目指す

問 22年度、新規高卒者を市の臨時職員として採用し、次の就労に結びつけるようビジネス研修を実施すべきでないか。

答 各高校から3名を臨時職員として採用し、勤務のほか基礎研修を行い就労促進につなげたい。

問 公立大との連携で設置される釧路市・都市経営戦略会議での検討事項と財政健全化推進室が担う役割との整合性、関連性について見解を聞きたい。

答 共同研究により客観的な現状分析を行い、今後の方向性等の検討を行財政改革の視点だけにとらわれず、将来のまちづくりに資するものとしたい。



釧路公立大学

問 「(仮称)釧路市男女平等参画推進条例」制定においては積極的な市民のかかわりが必要でないか。

答 パブリックコメントを実施する際には、期間や周知の方法など市民の声を反映させるべく積極的な取り組みを検討していききたい。

問 歳入の不足が予想される21年度決算に向けて、今後、どのような取り組みが考えられるか。

答 昨年10月に予算執行方針を変更し、歳出の一部凍結等を行った。今後、内部管理経費を中心とした歳出の削減と市税等の歳入確保に努めたい。

問 釧根の地域特性を考えると消防の広域化よりも広域連携の強化が適切と考えるが見解を聞きたい。

答 災害の多様化に対応するため広域化は有効であり、国の指針を受け道が策定した消防広域化推進計画は、地域特性を踏まえたものとなっている。

問 「子ども釧路良いところ見つけ隊」の取り組みを提案するが、その効果について見解を聞きたい。

答 自分たちの地域のよさを自ら探し、学習活動に取り組むことで、ふるさと意識と豊かな人間性をはぐくむことにつながると認識している。

本 会 議

日本共産党議員団

梅津 則行 議員

地域活性化・雇用等臨時特例費 一般財源として充当

問 ※地域活性化・雇用等臨時特例費を活用した事業はないのか。

答 22年度の予算編成に当たり、地域雇用を守る施策の実施に意を用いる中で、同特例費は一般財源として充当した。



緊急雇用創出事業による作業

問 国保料が上がっているとき繰り入れを減らすことについて、市民に説明できないのではないのか。

答 22年度の繰り入れは、前年度と同額確保に努めた。現在の財政状況下では、これ以上の増額は難しいため、適当なものとして判断している。

問 以前の市長には「支援と痛み軽減」策があった。22年度予算には、新たな負担軽減策がないのではないのか。

答 これまでの負担軽減策を継続していくことなどで進めていきたい。

問 後期高齢者医療制度について、年齢で区別することはあってはならないという認識か。

答 年齢での区分の問題や廃止の賛否は、同制度が国民にとって、よりよいものになるかどうかで判断されるべきものと考えている。

問 22年度予算で一般財源が9億円ふえているが、基金償還などに5億6,000万円を充てていかなければならない財政運営について、どう考えているか。

答 厳しい財政状況が続く中、やむを得ず借入れを行ったものであり、返済していかなければならないものと考えている。

問 教育推進計画策定に当たり、子供の貧困など子供を取り巻く状況を反映させるべきでないか。

答 今後、どのような形で方向性や行動指針を示すか協議していくことになるが、関係部署を含め問題意識の共有化に努めていきたい。

公明党議員団

逢坂 和子 議員

子宮頸がん予防ワクチン公費助成 国に対し財源措置を要望

問 ※子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を検討できないか。

答 北海道市長会等を通じて、国に対し、定期接種化と財源措置について要望していきたい。

問 北海道開発局の存続問題について、市長の見解を聞きたい。

答 北海道開発局が担っている機能は、道内の各種基盤整備を進める上で必要と考えており、今後とも体制の維持を強く要請していきたい。

問 加工原料乳生産者補給制度の改正に伴う限度数量削減について、市長の考えを聞きたい。

答 情報の把握に鋭意努めながら、今回の制度改正が営農意欲をしっかりと持てるような結果となるよう強く期待している。

問 22年度以降、年次的に実施する小中学校の大規模改修計画の財源対策について聞きたい。

答 国の耐震化を含む施設改修に係る補助制度の動向を十分見きわめながら、計画的に進めたい。



22年度改修予定の湖畔小学校

問 永住を希望している方に対し、未利用市有地を優先的に活用できる対応策・施策はないか。

答 移住者の土地取得に優遇策を設けることは、通常購入する場合との格差や、近隣の不動産売買への影響などを考慮すると難しい。

問 新設される西部子育て支援拠点センターに、子供の事故を未然に防ぐための情報を提供するコーナーを設けて啓発してはどうか。

答 新たに整備する西部地区を初め、東部・中部のセンターにおいても、事故防止に関する資料の展示や情報パンフレットを掲示し啓発していきたい。

阿寒音別クラブ 曾我部 元親 議員

阿寒国際ツルセンターの活用
「丹頂の里」の中核施設へ

問 阿寒国際ツルセンターの観光拠点としての役割と位置づけをどのように考えているのか。

答 動物園基本計画策定の中で役割や位置づけを示すことになるが、阿寒本町地区「丹頂の里」の中核施設として活用できるよう取り組んでいきたい。



阿寒国際ツルセンター

問 阿寒町総合福祉センターの休止に当たり、利用している団体の活動やイベントなどに支障が生じられると思われるが、対策は十分なのか。

答 活動やイベントへの影響・支障が最小限となるように、利用する場の確保に努めていきたい。

問 合併後、新市における一体感の醸成を目的として、地域協議会が設置されたが、その効果をどうとらえているのか。

答 各地域の住民の意見を市政に反映することができたものと考えている。

問 就農のための環境整備が必要であることから、総合的担い手育成対策を構築すべきでないか。

答 国、道と初め関係機関と連携を図りながら、総合的な担い手確保に向けた取り組みを進めたい。

問 地上デジタル放送電波の受信できない地域が、音別地区に多数存在していることから、市として対策を考えるべきでないか。

答 総務省で戸別受信に対する補助制度を設ける予定であり、当制度の活用が有効であることから、今後、適切な対応に努めていきたい。

問 旧阿寒小学校グラウンド跡地をサッカー場として整備したいとの要望が地元住民から寄せられているが、見解を聞きたい。

答 地域振興の観点から有意義なものとして認識しており、前向きに進めていきたい。

自由新政クラブ 畑中 優周 議員

個人住民税の収納率向上に向け
特別徴収の周知及び実施依頼を

問 個人住民税の特別徴収について、どのような動きと成果があったか。

答 個人市民税の収納率向上を図るため、市内事業所等に対し特別徴収の周知、実施依頼を行い、4社から22年度以降に実施する意向が示された。

問 公共事業の発注における最低制限価格のあり方について見解を聞きたい。

答 最低制限価格については、成果品の品質確保や契約内容の適正な履行確保の観点から、個々の案件ごとにその設定について判断している。

問 市道改良舗装率の達成見込みについて聞きたい。

答 22年度は地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業も含め延長で5,186メートルを整備し、改良舗装率は59%になる予定であり、24年度には目標である60%を達成できるものと考えている。

問 生活保護の認定や医療扶助の適正化に向け、民間等外部との連携を検討すべきでないか。

答 外部機関との連携・協力は不可欠であり、民生委員や警察、民間会社等との連携を図ってきたが、今後とも、その拡大に努めていきたい。

問 当市のケースワーカーの配置数については、国の基準数に沿ったものとなっているか。

答 59名の配置となっており、国の標準配置数より16名少ない状況である。22年度においては自立支援員1名を含め6名の増員を考えている。



ケースワーカーが配置されている生活福祉事務所

問 行政情報システム再構築事業の発注に、地元企業が参画できる方法を検討すべきでないか。

答 今回の入札は、機器調達地元企業中心、システム構築は大手企業で予定しているが、他自治体の実施状況を調査、検討していきたい。

予算案などの採決にあたり、2会派が賛否の討論を行いました。

要旨は次のとおりです。

日本共産党議員団反対要旨

22年度予算は、国民健康保険料を2年連続値上げするなど、苦しい市民生活の負担を軽減する新たな施策が見当たらない予算となっている。ヒブワクチン接種助成の予算化は評価するが、その財源をインフルエンザワクチン接種と健診事業の助成を削減して充てることは賛成できない。国の事業を積極的に活用し雇用を図ることには賛成できるが、地域活性化・雇用等臨時特例費の活用による雇用のさらなる創出及び釧路市独自の雇用施策が示されていない。公立保育園の民間委託については、正職員の保育士が減って臨時職員をふやさざるを得ない現状があることから、民間委託を見直すべきである。市営住宅や学校の建設と耐震化は、市民の暮らしの安全・安心にとって必要な事業であるが、港湾建設は国の直轄工事を含め、借金が減る構造となっていないため、これ以上の西港建設は進めるべきでないとする。今後の財政運営については、土地開発公社・釧路振興公社にかかわる借金返済が市民への大きな負担となり、その責任を問う声が出てくる。市長はその事実を市民にしっかりと伝え、どのように取り組むかを示すべきである。以上の理由により反対する。

市民連合議員団賛成要旨

釧路市は景気の低迷が続き、市税の減収が見込まれ、企業会計や第三セクターへの財政支援など、非常に厳しい予算編成であったが、内部管理経費の徹底した見直しや財政健全化を進めながら、市民の暮らしを守る施策、環境保全や産業振興に意を用いた予算となっている。この厳しい財政状況の中でも、ヒブワクチン接種への助成や地域子育て支援拠点センターの整備など、子育て支援策の強化が盛り込まれており、白樺地区での食料品店出店への支援にも配慮されている。公共施設の安全性や快適性の向上も盛り込まれており、合併浄化槽への補助制度創設など、地域における環境負荷の低減にも力点が置かれている。地元木材の活用による市民球場付属練習場の整備、未利用・低利用の農産物や水産物の有効活用など、農林水産業の振興策は新たな産業育成につながるものであり、雇用や安定した市民生活の面からも欠かせない取り組みである。(仮称)阿寒湖温泉アイヌシアターの運営については創意工夫を重ねることで、アイヌ文化の伝承や情報発信の拠点として、さらには観光振興など地域活性化に資する施設となるよう、関係者の特段の努力を期待する。以上の理由により賛成する。

小学校給食センターの民間移行 先行してセンター化を実施

問 学校給食の民間委託化への移行が遅れているが、今後の計画について聞きたい。

答 中学校給食センターは22年度から移行予定であるが、小学校については円滑な移行を図るため、まずはセンター化を進めていきたい。



釧路市中学校給食センター

問 定住自立圏構想において、図書館利用に関して、釧路町から相応の負担を求めざるべきでないか。

答 ただちに費用負担を求めることは難しいが、課題の是正に向け、今後、釧路町と連携、協力体制のあり方を協議していきたい。

問 MOOの活性化や地場産品普及を図るため、積極的に地産地消を展開すべきでないか。

答 MOOの活性化のためには、観光客のみならず市民の利用が不可欠であり、22年度からは地場野菜などの直売を検討している。

問 釧路西郵便局における各種証明書の交付は利用が少なく非効率である。廃止してコミュニティセンターへの自動交付機導入を進めるべきでないか。

答 既存サービスの検証とともに、効果的な設置場所や運用について検討を進めていきたい。

問 釧路市動物園の自然景観を生かし、園路を楽しむように動植物園化できないか。

答 当園の特徴である広大で豊かな自然景観を生かし、今後も市民のいやしの空間となるよう、できるところから取り組んでいきたい。

問 北斗霊園で永代管理・永代供養を行えないか。

答 同霊園において、管理料、墓所の形態などについて現在検討を進めている。市としても利用される方のニーズにこたえた墓所づくりを行うよう要請していきたい。

本 会

議 議

質 疑 ・ 一 般 質 問

3月9、10日 質問者 12人

〈公明 松橋尚文 議員〉

問 20年度からの釧路LED活用研究会の取り組みの成果と、22年度以降の展望を聞きたい。

答 研究会所属企業を中心にLED活用事業が活発化しており、市としても研究会と協働しさまざまな取り組みを進めている。今後も情報収集に努め、幅広い地域振興が図られるよう取り組んでいきたい。

〈自新ク 戸田 悟 議員〉

問 財政基盤を確立するため、今後の収支試算にバランスシートを用いて財政の正常化を図っていくべきでないか。

答 現在、新地方公会計制度の導入に当たり売却可能資産の評価を段階的に進めている。収支不足の解消に向けては、市保有資産を試算に反映するなど、その活用を図っていき

たい。

〈市民連 酒巻勝美 議員〉

問 市民からの提案・発議を受け事業化する(仮称)「市民提案型まちづくり事業」の制度化を検討すべきでないか。

答 これまでも市民との対話の中で、まちづくりへの提言

などを受けているが、提案を受けた同事業の制度化についても研究していきたい。

〈阿音ク 鶴間秀典 議員〉

問 乳幼児を連れて外出した際に授乳やおむつ交換ができる施設を市が登録し、「赤ちゃんの駅」として周知してはどうか。

答 サービス提供が可能な市施設を初め、民間施設等も含め早急に市ホームページで周知を図りたい。

〈清風会 高橋一彦 議員〉

問 全国学力・学習状況調査の結果、当市の子供たちの学力は全道平均値を下回っているが、学力向上のためどのような対策をとるのか。

答 教職員の資質や授業力の向上に努めるとともに、家庭学習の習慣化を図る取り組みなどの事例集を作成し、家庭及び学校に広く啓発・周知していきたい。

〈共産党 村上和繁 議員〉

問 釧路市民活動センターは中心市街地のシンボリック的存在であり、北大通に面した空き店舗に移転すべきでないか。

答 設置場所については、市民活動センター市民検討委員

会からの提案を尊重しており、現在の近隣地域で、より安全で便利な物件が移転先にふさわしいと考えている。



移転予定の釧路市民活動センター・わっと

〈公明 月田光明 議員〉

問 市東京事務所に、多方面にわたる人的ネットワークを持つ首都圏の人材の採用を、一部成功報酬型を取り入れることも視野に検討すべきでないか。

答 ネットワークを持つ首都圏の人材登用は、同事務所の機能強化の面からも有効的であり、検討していきたい。

〈清風会 笠井龍司 議員〉

問 上下水道ビジョン策定に向け、どのような方向性を持って進めていくのか、また、早

期に策定すべきでないか。

答 水道事業及び下水道事業それぞれに課題等があったことから今日まで策定を見送っていた。今後、早期に課題等を整理し、同ビジョンの策定を進めていきたい。

〈共産党 石川明美 議員〉

問 合併5年目を迎え、6月に合併検証報告をまとめるとのことであるが、その前に阿寒・音別地区の住民に対しアンケートを行うべきでないか。

答 釧路・阿寒・音別の各地域に設置している地域協議会の委員から、合併後の各地域の状況に対する意見や感想を聞くこととしている。

〈清風会 菅野 猛 議員〉

問 「音別駅前広場づくり整備事業」を具体的に進めるべきと考えるが、現時点における見解を聞きたい。

答 駅前を含めたにぎわいの場づくりなどは必要と認識しており、今後、住民の意見を聞きながら、多角的な視点に立ち、どのような構想が可能か検討していきたい。

〈無所属 草島守之 議員〉

問 釧路地域職業訓練センターは、地域経済発展に大きな役

割を果たしており、どんな仕組みでもその機能を残すという決意と考えを聞きたい。

答 同センターの存在は市にとって大変重要であり、道や道内4施設関係者と連携をとり、今後も国にセンター存続を力強く働きかけていきたい。



存続が望まれる釧路地域職業訓練センター

〈清風会 黒木 満 議員〉

問 広告事業における全庁的な取り組みを促進するため、優秀な部署等には市長賞を授与する取り組みをすべきと考えるがどうか。

答 表彰制度の導入については、職員の創意工夫による有益な改善案を表彰する職員提案制度の活用などを検討していきたい。

※ 新地方公会計制度とは、従来の会計制度では把握できなかった資産、負債の情報や行政コスト等を明らかにするため、企業会計の手法を導入したバランスシート等の財務諸表の整備、公表を求める制度。

総務文教常任委員会

子供たちの体力向上
三本柱の取り組みを
平成21年度全国体力・運動
能力、運動習慣等調査で、鉚
路市の子供たちの体力が全国
平均と比べて低いという結果
を受け、今後どのように取り
組んでいく考えかとの質問が
ありました。



中学校での部活動

理事者は、調査結果の概要
を各小中学校に周知し実態を
把握した上で、一点目には体
育の授業で十分な運動時間・
運動量を確保する。二点目
には部活動や同好会活動の活
発化を図る。三点目には家庭
での生活習慣確立のため「早寝

早起き朝ごはん」の推進につ
いて、参観日などの機会を利
用し家庭の協力を求めていく。
これを三本柱として取り組ん
でいきたいと答えました。

建設常任委員会

音別地区道路冠水対策計画
23年度基本設計し順次着手へ
音別地区道路冠水対策計画
について、23年度以降の取り
組みと事業規模についての質問
がありました。



冠水した音別地区市道中園5号線(昨年9月)

理事者は、今回、同計画の
検討に当たった結果、一定の
シミュレーションを行った結果、一定の
方向性が示された。22年度に
は、シミュレーションの実証
も兼ねて管内清掃などを行う。

23年度には基本設計を行い、
順次着手していきたい。なお、
22年度の事業費は、管内清掃
などで840万円、地域活性化・
きめ細かな臨時交付金による
管渠敷設事業費で95万円、23
年度以降5年間の概算事業費
は、4億1千万円ほどであると
答えました。

財政経済常任委員会

滞納者への行政サービス制限
公平・公正の観点から対応
経済苦の理由以外に「納付
逃れ」という考え方があらわ
れてきている。市税滞納者に
対しては行政サービスを制限
することが必要と思われるが、
これまでの状況と今後の考え
方を聞きたいとの質問があ
りました。

理事者は、市税に滞納があ
れば、各種融資・助成制度の
利用、市営住宅の入居などの
サービスを受けることができ
ないことになる。ただし、福
祉・教育に関することなど法
令等によりその制限が禁止さ
れているものや、規制自体が
適当でないものは除くことと
している。今後も、税の公平・
公正の観点から、より厳格に

石炭対策特別委員会

対応できるようにしっかり取り
組んでいきたいと答えました。
鉚路炭鉱の存続に向けて
研修事業の重要性アピール
海外の原料炭価格が高騰し
ていることに伴い、国内炭の
価格面でのメリットを打ち出
した上で鉚路炭鉱の存続を国
にアピールしていくことが必
要でないかとの質問がありま
した。



鉚路炭鉱での坑内実習

理事者は、海外炭の価格上
昇は、需給の逼迫によって生
じていることから、石炭の輸
入国である我が国において石
炭の安定確保を図るためには
ベトナムや中国など産炭国と

の関係、そして研修事業の果
たしている役割が大変重要で
ある。石炭の安定確保という
観点からの研修事業の重要性
をより強く主張していくこと
が必要と考えていると答えま
した。

民生福祉常任委員会

高齢者バス等利用助成事業
バス乗り放題定期券を助成へ
高齢者バス等利用助成事業
は、バス利用助成券の交付方
式から、定期券購入助成方式
へ変更するが、これまでの回
数券による助成を希望する方
もおり、実情を踏まえ見直す
べきでないかとの質問があ
りました。

市長は、本事業の課題や利
用上の問題点を検討した中で、
バス事業者の協力を得て、市
内定期路線バスが一定期間乗
り放題となる定期券の購入助
成とするものであり、多くの
市民の理解を得ている。今後、
定期券を活用し生涯学習講座
や社会教育施設等に足を運ん
でもらえるよう情報発信に努
めていくなど、さらなる有効
な活用方法は常に考えていく
必要があると答えました。

平成22年第1回2月定例会審議結果

○賛成 ×反対

件名	会派名 または 無所属議員名 ()は議員数	市民連合議員団(6)	公明党議員団(5)	清風会(5)	日本共産党議員団(3)	自由新政クラブ(4)	阿寒音別クラブ(4)	市政クラブ(2)	藤原厚議員	草島守之議員	審議結果
市長提出議案											
予算	22年度予算 国民健康保険音別診療所事業特別会計(360,554千円)／老人保健特別会計(213千円)／農業用簡易水道事業特別会計(8,561千円)／動物園事業特別会計(379,933千円)／工業用水道事業会計／公設地方卸売市場事業会計／市設魚揚場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(99,600,000千円)／国民健康保険特別会計(19,430,387千円)／後期高齢者医療特別会計(1,940,007千円)／介護保険特別会計(11,287,835千円)／駐車場事業特別会計(195,907千円)／病院事業会計／水道事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	22年度補正予算 一般会計(35,105千円、総額99,635,105千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21年度補正予算 一般会計(30,403千円、総額105,250,644千円)／一般会計(150,000千円、総額105,400,644千円)／国民健康保険特別会計(329,535千円、総額19,740,441千円)／動物園事業特別会計(2,000千円、総額355,605千円)／病院事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	制定条例 農業用簡易水道事業給水条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一部改正条例 支所設置条例／特別職の職員の給与に関する条例等の特例に関する条例／職員の給与に関する条例等／職員退職手当支給条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例／職員等の旅費に関する条例／財産条例／基金条例／動物園条例／重度心身障害者医療費助成条例／ウタリ住宅新築資金等貸付条例及びウタリ共同作業所条例／保育に関する条例／住民会館条例／病院事業の設置等に関する条例／ふれあい公園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	事務分掌条例等	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	職員定数条例／敬老祝金条例／国民健康保険条例／阿寒町保健・福祉サービス複合施設条例／消防本部及び消防署設置条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
契約	工事請負 交流プラザさいわい耐震改修建築主体工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件(津田鉄子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	釧路広域市町村圏事務組合規約の変更・解散・解散に伴う財産処分に関する協議の件／経営健全化計画策定に関する件(公設地方卸売市場事業会計・市設魚揚場事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	釧路町との定住自立圏形成協定締結について同意を求める件	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
専決処分	21年度補正予算 一般会計(177,600千円、総額102,944,202千円)／一般会計(繰越明許費追加)／負傷事故損害賠償額の決定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議員提出議案											
条例	制定条例 議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	環境負荷の低減等のための住宅リフォームの促進に関する条例	×	×	○	○	×	×	○	○	×	否決
意見書	「コケイン症候群」の難治性疾患克服研究事業調査研究対象疾患及び小児慢性特定疾患の難病指定を求める意見書／改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書／電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書／「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」の改正を求める意見書／政治資金規正法の制裁強化を求める意見書／「地域職業訓練センター廃止」の撤回を求める意見書／「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	「政治とカネ」の疑惑究明を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会に報告されたもの											
市長提出	平成21年事務報告書提出の件／国民保護計画変更報告の件／工事請負契約変更報告の件(本庁舎耐震改修工事・柳町公園旧厚生年金体育館解体工事(一次補正))／専決処分報告の件(交通事故損害賠償額の決定等)										完了
監査委員提出	監査報告書／例月現金出納検査報告書(10～12月分)										完了

※ 現在、無所属議員は3名であるが、二瓶議長は採決に加わっていないため、2名の氏名のみ記載している。
 ※ 日本共産党議員団の議員数は4名であるが、欠席により採決に加わっていないため、3名と表記している。



市議会本会議場

市議会を傍聴しませんか
 市政について知る良い機会です。市議会がどのように会議を行っているか、傍聴してみませんか。個人・各種団体・サークルなどで、是非お越しください。
 次回の6月定例会は、6月9日(水)午前10時から開会の予定です。
 市議会ホームページをご覧ください
 市議会からのお知らせや、各種情報などを掲載した釧路市議会ホームページをごらんください。市ホームページのクイックリンク欄「釧路市議会」の項目をクリックするとごらんいただけます。
 ただいま、インターネット上で2月定例会本会議の様を録画公開しています。
 また定例会中は、本会議での質疑・一般質問等の模様をライブでごらんいただけます。